



きつずる一むだより

第 32 号

令和 5 年 6 月 9 日発行

社会福祉法人ゆうゆう

きつずる一む県庁別館

雨が多い季節になりました。きつずる一むを利用する子どもたちは、お気に入りの長靴を履き、小さい傘をさしながら「雨降ってたの！」と元気に来所してきます。子どもたちにとってこの時期の楽しみの一つは長靴や傘が使えること。

雨上がりには、お気に入りの長靴を履いて、楓の庭をお散歩したいなと思っています。



構成遊び



Aくん(2歳5か月)が「まる、しかく」と言いながらマグネットを並べて遊んでいました。

そんなAくんの様子を見ながら、保育者も「ま〜る、し〜か〜く」と口ずさみながら一緒に楽しみます。

するとAくんも真似して、嬉しそうに一緒に口ずさみながらマグネットを並べ始めました。

しばらくして今度は、マグネットを組み合わせ始めたAくん。「♪まるさん、ピザさん♪」と新しい形を作り出し、できあがった形に歌いながら名前をつけていました。

白い大きなキャンバスに思いっきり自分の世界を表現し、楽しんだAくんでした。

Aくんの姿から見る発達

丸、三角、四角といった基本的な形を認識できるようになるのは概ね2歳前後と言われています。その後、それ以外の複雑な形も少しずつ認識できるようになり、物には様々な形や大きさがあることを発見していきます。そしてAくんのように、様々な形を組み合わせる新しい形を生み出す「構成遊び」へと発展していきます。

「構成遊び」の醍醐味は、イメージを自由に思いっきり形にし、表現すること。そのためにも、まずはシンプルな形を中心にしながら、十分な数のパーツを用意し、繰り返して楽しめる時間と場所を確保することが大切になってきます。

きつずる一むでもそんな時間と場所をしっかりと確保しながら、一緒に子どもたちの作り上げる世界を楽しんでいきたいと思っています。

☆左のエピソードの中に出てきた玩具を紹介します。

「プレイボード」

丸、三角、四角といった基本の形に加えひし形、半円などの木製マグネットをホワイトボードにくっつけたり、自由に組み合わせながら新しい形を作りあげて楽しめます。磁石がペタッとくっつく感覚やおもしろさを味わったり、できあがった物を身近な物に見立てるなどして楽しむこともできます。思考力、想像力、創造力が豊かになる玩具のひとつです。

ある雨の日、子どもたちが不思議そうな表情で空を見上げていました。“雨ってどんな音がするのかな。”と一緒に耳を澄ましてみると、ポツポツ、パラパラ、サーッ。降り方によって雨音が違うことに気づきました。雨の時期、ぜひお子さんと一緒に色々な雨音を見つけてみるのはいかがでしょうか。

